

# I 調査の概要



## 1. 調査の目的

本市では、平成32年度～平成36年度までの5年を期間とする第2期子ども・子育て支援事業計画（子どもプラン）の作成の準備を進めています。本調査は、市の教育・保育サービス等の利用状況や今後の利用希望、子どもと子育て家庭を取り巻く状況や子育てをめぐるとのニーズなどを把握するため実施したものです。

## 2. 調査の方法

- 調査対象者：小学校就学前児童の保護者 2,000 名  
：市立の小学5年生及び中学2年生とその保護者
- 抽出方法：（就学前児童保護者）住民基本台帳より無作為抽出  
：（小・中学生）全員
- 調査方法：（就学前児童保護者）郵送配布・郵送回収  
：（小・中学生保護者）学校配付・郵送回収  
：（小・中学生）学校配付・学校回収
- 調査期間：平成31年1月18日～1月31日

## 3. 配布・回収状況

対象	発送数	回収数	有効回答数	有効回答率
就学前児童の保護者	2,000 票	1237 票	1236 票	61.8%
小学5年生・中学2年生の保護者	1,412 票	795 票	794 票	56.2%
小学5年生	702 票	676 票	674 票	96.0%
中学2年生	710 票	650 票	647 票	91.1%

## 4. 報告書を読むにあたっての留意点

- 「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表現しています。
- 「n」は、「Number of case」の略で、その設問への回答者数（構成比算出の母数）を示しています。
- 百分率による集計では、回答者数（該当質問においては該当者数）を100%として算出し、本文及び図表の数字に関しては、全て小数第2位以下を四捨五入し、小数第1位までを表記します。このため、全ての割合の合計が100%にならないことがあります。また、複数回答（2つ以上選ぶ問）の設問では、全ての割合の合計が100%を超えることがあります。
- 図表中の「0.0」は四捨五入の結果または、回答者が皆無であることを表します。
- クロス集計の結果、項目の順位が全体集計と変わることがあります。
- 図表の記載にあたり調査票の質問文、グラフ及び文章中の選択肢を一部簡略化している場合があります。
- クロス集計グラフでは、見やすさを優先し「0.0%」や1%未満の数値表示を省略しているものがあります。
- 必要に応じて、平成25年度に実施した「白井市子育て支援に係るアンケート調査」（以下「前回調査」とします）との比較を行っています。
- 必要に応じて、「所得ライン」の上か下かで分類した分析を行っています。所得ラインは、小・中学生保護者票問25「可処分所得」の回答によるもので、国が平成28年国民生活基礎調査結果で算出した貧困線を参考に、下記の選択肢表で「選択肢1」「選択肢2」と回答した世帯を「所得ライン未満の世帯」、それ以外を「所得ライン以上の世帯」としています。

### 【所得ラインの設定】

世帯員 人数	可処分所得					
	選択肢1	選択肢2	選択肢3	選択肢4	選択肢5	選択肢6
2人	85万未満	175万未満	260万未満	345万未満	430万未満	430万以上
3人	105万未満	210万未満	315万未満	420万未満	525万未満	525万以上
4人	120万未満	245万未満	365万未満	485万未満	605万未満	605万以上
5人	135万未満	275万未満	410万未満	545万未満	680万未満	680万以上
6人	150万未満	300万未満	450万未満	600万未満	750万未満	750万以上
7人	160万未満	325万未満	485万未満	645万未満	805万未満	805万以上
8人	175万未満	345万未満	520万未満	695万未満	870万未満	870万以上
9人	185万未満	365万未満	550万未満	735万未満	920万未満	920万以上

所得ライン未満の世帯 ←

- 小・中学生調査票については、保護者からの回答があり、親子のマッチングができた場合のみ所得ラインでの比較分析を行っています。

